

新春の挨拶

鹿児島市歯科医師会 会長 上稲葉 隆



新年あけましておめでとうございます。

鹿児島市医師会の皆様には、2026年の新春を新たな気持ちでお迎えのこととお慶び申し上げます。また日頃より鹿児島市歯科医師会に対してご理解・ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。さらに本会会員が日常臨床、医療連携等に於いて大変お世話になっていることに改めて感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、大きな出来事として海外では、トランプ氏の2期目大統領就任・トランプ関税。国内では、大阪・関西万博の開催、2025年問題、政治的不安定が社会的な課題として顕在化しつつあること、「令和の米騒動」とも呼ばれる食料品を巡る混乱等が挙げられるのではないのでしょうか。

私は昨年7月に本会会長に新しく就任いたしました。まだ約半年ですが、改めて会、会員の状況をみてみますと、多くの問題を抱えていることに気づかされております。少子・超高齢社会の中、医療界に於いては、昨年に引き続き大変困難な時期にあると思います。我々歯科界でも保険診療収入の不足、物価上昇による財政面はもちろんのこと、働き方改革、歯科衛生士、歯科技工士などの人材不足等々、患者さんに寄り添った良質な医療を提供するには多々困難を伴う、程遠い状況になってきています。さらに国は、より質の高い医療やケアを提供することを目指し、施設基準の設定、医療DX等の導入を謳っていますが、我々にとっては、ますます複雑、煩雑なものとなってきていると思います。

これらのことについて本会としても会員が取り残されないように事業を展開していく所存ですが、そのためには、なによりも市医師会、市薬剤師会の皆様のご協力が必要不可欠なものと思っております。地域医療の一端を担う者にとって、患者さん中心の適切な形での介護分野を含めた医療・介護連携を構築、充実していく必要があります。

本年の干支は60年に一度巡ってくる丙午です。この年は、一部マイナスな迷信もありますが、火のように勢いや情熱に満ちた、行動力のある年になると言われています。本会、私自身も馬車馬の如くとは行きませんが、前向きに活動していく所存ですので、本年も変わらぬ市医師会の先生方の忌憚のないご意見、ご助言をよろしくお願いいたします。

むすびに、皆様の益々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げまして新年のご挨拶とさせていただきます。